



社会教育による地域の教育力強化プロジェクト

テーマ「学校と地域の総合的な活性化」

「心(SP)・絆(SC)・地域(SC)の活性化プロジェクト」

朝日・高根百景プロジェクト記録

高山市教育委員会

目 次

第1回 朝日・高根百景プロジェクト	1
-------------------------	---

プロジェクト概要

記録写真

旧秋神小・中学校校歌

関連新聞記事

参加児童生徒等の感想

第2回 朝日・高根百景プロジェクト	15
-------------------------	----

プロジェクト概要

記録写真

旧日和田小・中学校校歌、旧高根中学校校歌

関連新聞記事

参加児童生徒等の感想

第1回朝日・高根百景プロジェクト（冬の秋神編）

1. 日 時 平成23年11月23日（水）

2. 場 所 旧秋神小学校校舎（2階）

3. 事業内容

名古屋芸術大学の指導を得ながら、朝日小学校、中学校の児童生徒が、旧秋神小・中学校（廃校）の校歌に歌われている景色を木版画で刷り、それを行灯に張り、4基の行灯を完成させ、行燈に灯をともし、地域住民も一緒になって校歌を鑑賞した。

4. 参加者

名古屋芸術大学美術学部アートクリエイターコース 14名

西村教授（松岡教授、助手2名、学生10名）

朝日小4年～6年 10名

朝日中1年～3年 13名

地域の高齢者・保護者等 10名

朝日小・中学校の教諭 4名

朝日中学校区活性化協議会委員 13名

計 64名

5. 日 程

9:00 受付で、参加者6名学生2名の8名一組になり、4チームに分ける。

廃校になった旧秋神小学校の校歌を聞き、校歌に歌われている景色を見ながら、版画にする絵の構想を練る

9:30 学生が撮ってきた写真から、気に入った景色を選ぶ

10:30 下絵を版木に描く

12:00 昼 食

13:00 版木を彫る

15:00 油性インキで摺る。摺り上がった木版画をドライヤーで乾燥させる。

16:00 木版画を行灯に張る

16:30 行灯を校舎内の教室と廊下に並べ、消灯して校歌を流し、みんなで合唱し、鑑賞する

17:15 子どもたち解散・帰宅

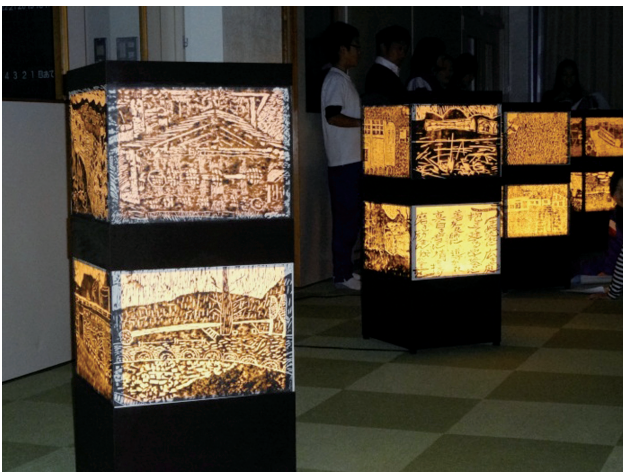
6. その他

制作した行灯（4基）の活用

朝日小学校、中学校、朝日支所、秋神小学校等に設置する

第1回 朝日・高根百景プロジェクト 於：旧秋神小学校
[H23.11.23]





旧秋神小学校 一之宿校舎



一之宿校舎

旧秋神小・中学校 校歌

一 高く連なる 峰の波

飛驒の水源 流れ出づ

山と水とに 生い立ちて

文化の園を 築きゆく

基を養う 我が使命

二 つきぬ流れに 広き庭

抱きて建てる 学び舎に

善友良師に 導かれ

真白き雪の 精を採り

磨き励まん 我が業を

三 希望照らせば 我が行手

いばらは道を さえぎりて

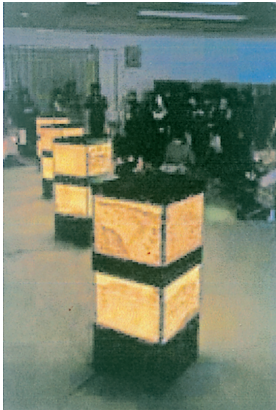
巖（いわお）は高く はばむとも

難（かた）きをしのぎ 奮い立ち

心と身とを 鍛えなん

高山の廃校で「木版画あんどん」作りー名古屋芸大と地元小中学生らが制作

(2011 年 11 月 25 日) 飛騨経済新聞



3 年前に廃校となった高山市朝日町の旧秋神小学校で 11 月 23 日、「第 1 回 朝日・高根百景プロジェクト」として、名古屋芸術大学の学生らと朝日・高根地域の小中学生ら合わせて 39 人が「木版画あんどん」作りに挑戦した。朝日中学校区活性化協議会の主催。

今回のイベントについて、同協議会の西田純一さんは「この学校は現在、グリーン・ツーリズムの拠点として地域活用されているが、廃校になった今でも、地域の子どもから高齢者まで心の中にはかつての学校の思い出が生き続けている。世代や地域を超えてその思いを共有できる体験が何かできないかと考えたのがきっかけ」と話す。

イベントには、名古屋芸術大学アートクリエイターコース・版画コースの西村正幸教授と教員・学生らが協力した。「これまで数十年間、大学教育という物づくりの現場において、ずっとないがしろにされてきた、古からの職人の技術力やものづくりの証しが、この地域にはまだ残っている。その空気とにかく触れて感動し学生と共に学びたい」と西村教授。

当日は、同学生と地元小中学生児童らは、8 人ずつのグループに分かれ、旧学校の校歌に歌われている風景を木版画にし、その絵をあんどん一基に 8 枚ずつ貼り付け計 4 基のあんどんを作った。最後は校舎内にあんどんをとし、地域の高齢者など卒業生らを招いて全員で旧校歌を斉唱した。

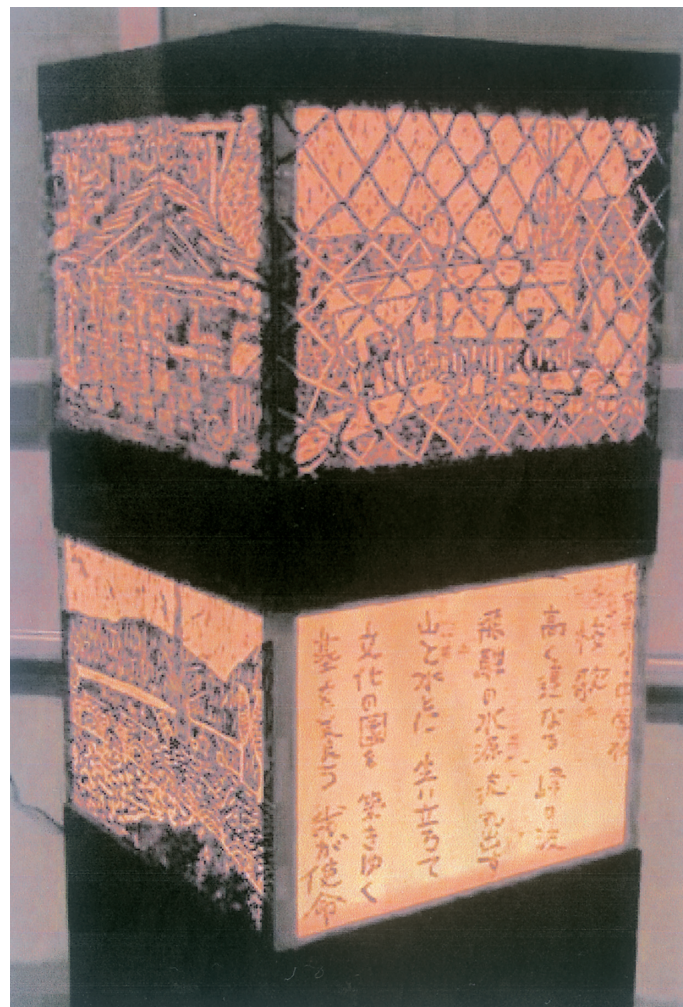
あんどん作りを終えて、中学 1 年の男子生徒は「小 3 以来 4 年ぶりに学校に来て、とても懐かしかった。ここに来てプールの風景を見て、小学校のときプールで爪を割って痛かった事を思い出し、『フェンスから見たプール』を版画の課題に選んだ。一日中、図工の時間で疲れたが楽しかった」と振り返った。

名古屋芸大の女子学生は「みんな最後までずっと一生懸命制作してくれて、本当にすてきなものができた。最後に校歌を聴いたときは感動で涙が出た。私たちも学んだ事がたくさんあった」と話す。

あんどんは同校のほか、朝日町地域の各所にそれぞれ展示する予定。



版木は2時間足らずで彫り上げた。「みんな、集中力と休憩の切り替えが物凄く上手い」と芸大生も舌を巻く（2011-11-25）



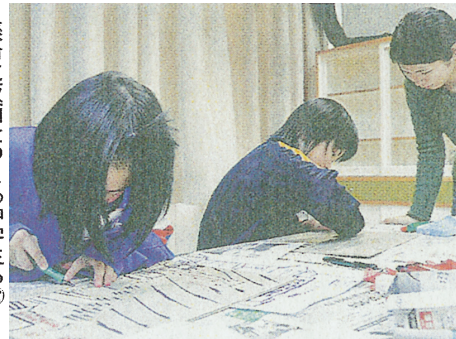
地域の風景 木版画に

朝日・高根の
小中学生 名古屋の学生と交流

高山市朝日町と高根町の良さを若い世代に再確認してもらおうと、地域の風景を木版画に彫る「第一回朝日・高根百景プロジェクト」が、廃校の旧秋神小学校であり、両町内の小中学生二十三人が名古屋芸術大生の手ほどきを受けながら木版画を仕上げた。

文部科学省の委託事業「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」の一環で、朝日中学校区活性化協議会と名古屋芸術大が連携し、「学校と地域の総合的な活性化」をテーマに、廃校となった学校や地元施設を利用しながら実施。学生十

二人が訪れた。小中学生は約六人ずつ四つのグループに分かれ、旧秋神小近くの風景写真を基に、A3判の大きさの木版画作りに臨んだ。



懸命に版画をつくる中学生ら
高山市朝日町の旧秋神小学校で

同大の江津彩香さん(三)が「グラウンドにシカが出たとか新鮮な話がたくさん聞ける。スクールバスで四十分かけて通うというのも驚いた」と語ると、朝日中三年の下島優香さん(二)は「何もないとこだけど、いいところなのかなあ」と話していた。完成した版画は学生が作った特製あんどんに飾り付け、旧秋神小や市の朝日支所、朝日小と朝日中の四方所に展示される。来年一月にも木版画作りを予定している。

(大沢悠)

第1回朝日高根百景プロジェクト参加児童生徒等の感想

(朝日小4女子)

最初は「だいじょうぶかなー？」としんぱいしていたけど、大学生の人たちがていねいに教えてくれたのでうれしかったです。あと、大学生の人たちとも仲よくなれたのでうれしかったです。さいごは、大せいこうしたのでうれしかったし、「やってよかったなー。」と思いました。

(朝日小4保護者)

木版画初めてのことだったので正直大丈夫かなあ？とかなり心配してましたが、帰ってきた時の彼女の笑顔を見て参加させてよかったと感じました。

又、大学生のお姉さんたちとの交流もものすご〜く楽しかったようで彼女にはよい刺激になったようです。とても充実した一日がすごせたようでした。

(朝日小5女子)

私は、あんどん作りをして、ちょうこく刀でほったりするのはずむかしくて、あまりほるのは、とくいではないので、こつをおしえてもらってできたし、どんなのができるかたのしみでした。

大学生のみなさんともなかよくなっていて、いろいろ話せたし、いろんなことをおしえてくれたのでうれしかったです。本かくてきなすみとかでうつして、タワシみたいなのでこすってはじめてそんなやりかたをしてこんなやりかたなんだと思いました。あんどんに電気をつけたとき、すごくきれいだったし自分のがきれいにできてうれしかったです。

また大学の人たちと遊んだりしたいです。

日和田でやるときは、ぜったいに行きたいです。

(朝日中3男子)

とても意義のある時間を過ごせた。閉校になり、しばらく忘れていた秋神小学校だったが、今回のプロジェクトを通して、再び秋神の自然に触れ合えた。休憩時間には、中学生や小学生と一緒に遊んで仲間ともっと仲を深められた。

特に最後の行灯をともしたときはとても感動した。1日間でここまで集中して木を削って版画を刷り上げ、大きな達成感を感じられたのはとても嬉しかったし、やり切ったことでその後の活動も活き活きと行えるようになった。

ー地域のことや地域と自分との関係について思っていることー

地元の良さを改めて感じられたのでこの秋神を残す為にもっと努力していきたい。

(朝日中1女子)

最初は、いい版画ができるか心配でしたが、学生の方のアドバイスもあって、思った以上に良い版画ができました。最後に電気を消し、あんどんの灯りをつけた時、すごきれいでした。今回、貴重な体験をさせていただき、準備してくださった方々に感謝したいです。参加できてよかったです。

(朝日中1保護者)

秋神の子どもが、秋神（ふるさと）の良さを、いつまでも忘れず大切に想ってくれるとよいと思います。

参加させていただいて、とてもなつかしく、楽しかった 行ってよかったという言葉聞いて、うれしくなりました。

(朝日小 保護者)

今日は、参加させていただき、本当にありがとうございました。私も朝日に生まれて朝日で育ち一回家を離れましたが朝日へ戻ってきました。年を重ねるごとに朝日が大好きになっていきます。そして朝日を誇りに思うようになりました。そんな自分は幸せ者だと思います。だから、朝日の子ども達にもそんな思いを持ってもらえたらなあ〜と思いながら、秋神の風景をほりました。

朝日・高根には、忘れてほしくない素晴らしい風景がたくさんあります。私も子どもの頃の風景が亡くなった祖母の言葉と共に心に刻まれています。今ではその風景がなくなって、人間の都合の良いほうに整備されてしまいました・・・・・・。

(朝日小5男子保護者)

前もってスタッフの方々が、校舎や校庭などを写真でとり、それをもとにして絵を描き版画にするという方法でしたが、子どもたちみんながそれなりに、短時間に絵を描き彫りとても早くびっくり。やりたい子たちが集まったから？皆、集中していたのか？学生さんたちのアドバイスがあったからか？なのかすごく早くそれなりにとてもよく集中してできていたことにびっくりしました。そして出来上がった行灯はとてもりっぱなもので、普通の学校の授業ではぜったいお金もかかるし、出来ないような行灯でとてもすばらしい体験でした。

(個人的に何か塾のようなところに行っている子たちは、特別な体験などできるでしょうが) 特に今回のような企画は、学校の授業の中で取り入れられているようなものではなく、希望者のみでも参加し、新しいことに触れること学習することができとてもありがたいことと思いました。学校からいろいろなイベントの企画がお知らせでもらいますに興味があり参加すればとてもよい体験ができるのになーと思いました。

(朝日小6女子)

私は最初「写真をみてまねしてかく」なんてことできるのかと思っていました。けど、やっていくうちに楽しくなってきました。奥行きのかき方がわからなかったときに、同じチームの先生が教えて下さったのでうれしかったです。ほりに入っても先生方が「こうやってほるといいんじゃない」など、アドバイスをたくさんして下さいてすごくいい作品ができて、「いい作品になったねえー。」とやって下さり、とてもうれしかったし、一生けん命時間をかけてやってよかったと思いました。休けい時間などに小・中学生と先生方と楽しく遊べたり、たくさん話せたりしたのでとても楽しかったです。また名古屋芸術大学のみなさんとやらせていただきたいです。

(朝日小5女子)

私はあんどん作りをして、最初、川の絵をかくとき、むずかしくて「いいかんじにできるかな」とおもったけど、大学のおねえさんがやさしくおしえてくれたおかげで、いいあんどんができました。大学生と友だちになれて楽しかったです。またきかいがあったらいきたいです。

(朝日小5女子)

私は、はんがをやるのは、ひさしぶりで、やりかたをわすれていたけれど、先生におしえてもらって、よてい時間より、はやめにおわってよかったです。あと、お昼ごはんや、休み時間や、おやつするときなどに、いろいろな先生とあそんだり、食べたりして、なかよくなれてので、うれしかったです。

はんがを、ライトアップしたときは、見た目よりすっごくきれいで、かんどうしました。家にかえるとき、先生とあく手をしてかえったけど、ちょっとさびしかったです。せっくくなかよくなれた先生のもうおわかれしたのでさびしかったです。

(朝日小4女子)

いろいろな人たちと、あんどんを見たり、おしえたりして、みんなとなかよくできました。

あんどん作りは始めてだけど、大学生の人たちとも、なかよくなれて、さいご、あんどんに光りをつけたとき、とても、きれいだったし、やったかいがありました。またやりたいな～と思います。

(朝日小4女子)

わたしが一番心にのこっていることは、大学生のお姉さんたちと遊べたことと、あんどんに明かりをつけたときのことです。初めてあんどんを作って明かりをつけたときすごくきれいだと思ったし、自分で作ったのを見てよかったなと思いました。また、あんど

んを作れたら作ってみたいです。

(朝日小4女子)

はじめてちょうこくとうを使ってみたので、楽しかったです。でも最初はちょっとどう完成するか不安だったけどみんな上手なので安心しました。そして、やっと出来たときに点灯したらすごくきれいで感動しました。あんどん作りをやっていいことを体験したし、いままで使ったことが無かったちょうこくとうの使い方もおぼえたのでよかったです。

(朝日小)

ちょうこくとうは初めて使ったけど、けがもなくていいたいけんができたと思いました。電気をつけたとききれいだったからがんばったかいがあったと思いました。

(朝日小6年男子)

ぼくはチームであんどんを作れてうれしかったです。

でも、木はん画をそっている時の最初は根気よくやっていたけど後からはちょっとめちゃくちゃなところもあったけど、うまく楽しく学生と楽しくできたのでよかったです。

(朝日中1年男子)

ぼくは大学の人にいろいろおしえてくれたのでうれしかったです。ぼくはちゃんとできたのでよかったです。

ぼくはすごく地域のひとにかんしゃしています。だからこんどはぼくがちゃんとやりたいです。

(朝日中1年女子)

思っていたよりも楽しかったです。版面を作る時に、学校の周りの風景を作るのがうれしかったし、久しぶりに版面をやってみて面白かったです。

大学生の方たちがアドバイスして下さったり、ほめてくださったりうれしかったです。ほり終わった版面をする時、使ったことのないものが使えて面白かったし、今までやったことのない方法だったので、こんなのもあるんだーと思いました。

みんなのがすりあがって、あんどんにして火がついた時には、うわぁーきれいだなぁと思いました。いろいろあって心配していたけれどちゃんときれいでうれしかったです。おにぎりおいしかったです。ドッチボールもとても楽しかったです。

(朝日中1年女子)

最初は「難しいなぁ」と思ったり「大学生さんはいいかんじっていつてるけど大丈夫か

な？」と思ったりして、不安だったけど自分の思いどおりにかいていったらちょっとはいい感じになったのでほっとしました。

大学生と話したり、遊んだりできてとても楽しかったし、テストの事なんて忘れてしまいました。本当に楽しかったです。

あんどんに明かりをともした時思わず口から「わぁ」という声のでてしまいました。とても感動して、「作ったかいがあったなあ」と思いました。

すてきな体験ができてとてもよかったです。

(朝日中1年男子)

今回の秋神プロジェクトでははんがでさいしょはうまくできるかしんぱいだったけどさいごにはとてもきれいなあんどんができたのでよかったです。

(朝日中1年男子)

ちいきの人とふれあう大切な会だったと思います。

こうかをきいてすごいと思いました。

はんがもうまくほれてよかったです。

(朝日中1年男子)

地域の行事に参加できた事をほこりに思うし、満足のいく作品ができました。これからもふるさとを大切にしていきたいです。

参加してよかったと思いました。

(朝日中2年男子)

自分でえをかいたりほったりすったりしたの楽しかったし、自分がやったやつをかざれるのできれいにつくってよかったと思いました。

校歌をきいて、自分で考えてできたのでよかったです。ひさしぶりに秋神小に入れてよかったし、なつかしかったです。

(朝日中3年女子)

旧秋神小へ行けてなつかしかったしうれしかったです。木版画では旧秋神小学校がまた書けてうれしかったです。山はただの真黒ではなくて縦に彫ったり、ななめに彫っていろいろな工夫ができておもしろかったです。また、空も同じでただの真白じゃなく真黒ではなく平刀で彫っておもしろかったです。また、グラウンドもただ真黒じゃなくグラデーションして楽しかったです。山、空、グラウンドで他の工夫もできる彫り方もやってみたいと思いました。彫り方では、小学校と違い、バレンも違って楽しかったし、他にも彫り方があるのか知りたくなりました。練習ではうまくできたけど本番ではバレ

ンでこすりすぎて少し白の部分も黒になってしまったけど意外ときれいだったのでよかったです。

(朝日中3年女子)

名古屋芸術大学のアートクリエイターコースの学生さんとの交流を通して改めて自分の住んでいる場所が、良い所なんだと思いました。

大学での生活のことなど、貴重なお話を沢山学生さんにおしえてもらい、親しくなることができました。

(朝日中3年男子)

まず、版画自体久々でうまくいくかわからなかったけど、うまく行ってよかったです。そして、こういう地域の姿を後世に遺していく活動に携われてよかったです。

(朝日中3年女子)

名古屋芸術大学の皆さんと話せてとても新鮮でした。

いろんな話ができ、とても楽しかったです。

第1回朝日高根百景プロジェクト (H23.11.23)

(朝日小4女子)

最初は「だいじょうぶかなー？」としんぱいしていたけど、大学生の人たちがていねいに教えてくれたのでうれしかったです。あと、大学生の人たちとも仲よくなれたのでうれしかったです。さいごは、大せいこうしたのでうれしかったし、「やってよかったなー。」と思いました。

(朝日小4保護者)

木版画初めてのことであったので正直大丈夫かなあ？とかなり心配してましたが、帰ってきた時の彼女の笑顔を見て参加させてよかったと感じました。

又、大学生のお姉さんたちとの交流もものすご〜く楽しかったようで彼女にはよい刺激になったようです。とても充実した一日がすごせたようでした。

(朝日小5女子)

私は、あんどん作りをして、ちょうこく刀でほったりするのはずむかしくて、あまりほるのは、とくいではないので、こつをおしえてもらってできたし、どんなのができるかたのしみでした。

大学生のみなさんともなかよくなっていて、いろいろ話せたし、いろんなことをおしえてくれたのでうれしかったです。本かくてきなすみとかでうつして、タワシみたいなのでこすってはじめてそんなやりかたをしてこんなやりかたなんだと思いました。あんどんに電気をつけたとき、すごくきれいだったし自分のがきれいにできてうれしかったです。

また大学の人たちと遊んだりしたいです。

日和田でやるときは、ぜったいに行きたいです。

(朝日中3男子)

とても意義のある時間を過ごせた。閉校になり、しばらく忘れていた秋神小学校だったが、今回のプロジェクトを通して、再び秋神の自然に触れ合えた。休憩時間には、中学生や小学生と一緒に遊んで仲間ともっと仲を深められた。

特に最後の行灯をともしたときはとても感動した。1日間でここまで集中して木を削って版画を刷り上げ、大きな達成感を感じられたのはとても嬉しかったし、やり切ったことでその後の活動も活き活きと行えるようになった。

-地域のことや地域と自分との関係について思っていること-

地元の良さを改めて感じられたのでこの秋神を残す為にもっと努力していきたい。

第2回朝日・高根百景プロジェクト（冬の高根・日和田編）

1. 日 時 平成24年1月29日（日）

2. 場 所 旧秋神小学校校舎（2階）

3. 事業内容

- 1) 名古屋芸術大学の指導を得ながら、朝日小学校、中学校の児童生徒が、旧高根中学校、旧日和田小・中学校（廃校）の校歌に歌われている景色を木版画で刷り、それを行灯に張り、4基の行灯を完成させ、行燈に灯をともして、地域住民も一緒になって校歌を鑑賞した。
- 2) 朝日小学校の児童と保護者が、冬の景色やミナモをデザインにあしらったペットボトル提灯を作成した。

4. 参加者

名古屋芸術大学美術学部アートクリエイターコース 18名
西村教授（松岡教授、助手2名、学生14名）

（行燈作成）

朝日小学校4年～5年生	3名
朝日中学校1年～2年生	9名
保護者	2名

（ペットボトル行燈作成）

朝日小学校1年～3年生・保護者	12名
小中学校の教諭	3名
活性化協議会委員	13名
その他地域住民・子ども	6名
計	66名

5. 日 程

行燈制作のスケジュールは第1回プロジェクトとほぼ同様
ペットボトル提灯の制作は午後3時間程度

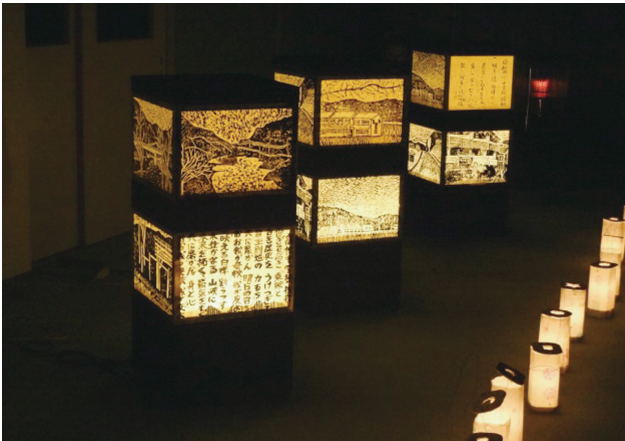
6. その他

制作した行灯（4基）の活用

朝日小学校、中学校、高根支所、秋神小学校等に設置する

第2回 朝日・高根百景プロジェクト 於：旧秋神小学校
[H24.1.29]







高根中学校 校歌

一、仰ぎて高き 乗鞍と

古き歴史を うけつぎて

自主創造の 力もち

共に築かん 明日の日を

おお我が母校 我が友よ

二、映える白樺 影うつす

水豊かなる 山峡に

未来を拓く 覇気もち

共に磨かん 身と心

おお我が母校 我が友よ



日和田小・中学校 校歌

一、明るい緑 白樺の

若葉がおる 丘の上

集いて学び かつきたえ

楽しい我等の 日和田校

二、姿気高い 御岳を

指呼に仰いで 朝に夕に

正しく強く おおらかに

伸びゆく我等の 日和田校

三、あかねの雲よ 青空よ

飛驒山脈の ふところに

高光る里 わが日和田

輝く我等の 日和田校

あんどんなども登場

朝日 小中学生らが制作

○…朝日町では二十九日、小中学生が地元の色やミナモなどをあしらったあんどん



を集め、高さ約二メートルの雪だるまを完成させた。年長の瀬上和佳奈ちゃん(六)は「選手に頑張ってもらいたいながら楽しく作った」と笑顔。横断幕には「ようこそ丹生川へ」などと書かれている。



朝日町の小中学生が作ったあんどん
㊤とちょうちん＝高山市朝日町で

十三個とあんどん四基を作った。あんどんは、選手らのおもてなしとして市役所本庁舎や朝日支所などに飾る。子どもたちに地域への愛着を持ってもらおうと朝日中学校区活性化協議会が進める「朝日・高根百景プロジェクト」の一環で取り組み、朝日小と朝日中から希望する計二十五人が参加した。

プロジェクトに協力する名古屋芸術大学の学生が先生役となり、小学一年～三年生は保護者と一緒にミナモなどをあしらったペットボトルちょうちんを制作。小学四年～中学三年生は山や川、校舎などを題材にした木版画であんどんを仕上げた。

廃校への思いを馳せ…

朝日で「あんどん作り」

子供たちに郷土への愛着と誇りを持ってもらうと、朝日小・中学校の子供たちが二十九日、廃校になった旧秋神小で木版画を使った「あんどん作り」を行った。

これは文科省の委託を受けて、地域の教育力の強化に取り組んでいる朝日中学校区活性化協議会が主催したもので、名古屋芸大の学生たちが協力。小学四年生～中学二年生の十二人が参加した。

木版画は、廃校になった旧日和田小中学校と旧高根中学校の校歌に歌われている内容がモチーフ。朝日町に住む子供たちも、高根町が



同じ校区であることから、同時に思いを馳せて作品を仕上げた(右下写真)。名古屋芸大の学生が高さ約一メートル×幅四十センチの木枠を作り、仕上がった木版画を一枚一枚丁寧に張ってあんどんを完成させた。

この行事は今後も続けて行われ、次回は朝日小・中学校などをモチーフに

取り入れる予定という。



朝日・高根百景プロジェクトであんどん作り



廃校となった校舎を描いた木版画を刷る児童ら＝高山市朝日町、旧秋神小学校

郷土の風景、光に浮かぶ

地元小中生ら 乗鞍や廃校校舎、版画に

子どもたちに地域の風景を大切にする気持ちを持ってもらおうと、「朝日・高根百景プロジェクト」が29日、高山市朝日町の廃校となった旧秋神小学校で開かれた。両地区の小中学生らが廃校となった各学校の校歌に歌われた風景を木版画にし、あんどんを作った。

(古川賀史里)

文部科学省の委託事業「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」の一環。朝日中学校区活性化協議会が名古屋芸術大学の協力を得て実施。今回で2回目。前回は旧秋神小学校がモチーフとなったが、今回は廃校となった旧日和田小中学校と旧高根中

の原風景が照らし出さる中、参加者らが静かに校歌を歌い上げた。4年生まで旧日和田小学校に通っていたという吉田直樹君(14)は「校舎が懐かしい。あんどんがほのかに照らす中、それぞれの校歌を歌う参加者ら＝同



あんどんがほのかに照らす中、それぞれの校歌を歌う参加者ら＝同

第2回朝日高根百景プロジェクト参加児童生徒等感想

(朝日小1女子)

はんこはむずかしかったけど、きれいにできてよかったです。

保護者の感想(屋貝陽子様)

1年生の娘と他にもちび2人を連れての参加だったので不安がありましたが、大学生のお姉さんたちの助けもありとっても濃い時間をすごすことができ、参加させていただきありがたく思えました。物づくりに取り組む娘を見てとても真剣で意外でした。実行委員の皆さま色々大変だった事と思います。

ありがとうございました。

おやつの団子もナイスアイデアだと思いました。

(朝日小1女子保護者)

2回目も参加させて頂き、有難うございました。

1日がかりの大変な作業ですが、根気よくとりかかっている姿は、素晴らしいと思いました。

低学年の「ペットボトルで行灯を作ろう」は、親子で楽しんで作ることができたようでよかったと思います。

このプロジェクトがこれだけで終わらず次につなげていただければ地域の活性化にもつながりよい企画となるのではないのでしょうか。

(朝日小1女子保護者)

小中学生の保護者に関わらず、地域の方々にも知らせて出席していただいてはどうでしょうか。

それによって、地域の方との交流もでき、話をする中で昔の風景もよみがえっていきより強くこのプロジェクトの意義が伝わっていくのでは・・・と思います。

(朝日小4女子)

わたしは、2回目だったけどまたちがう風景が書けたのでとても楽しかったです。しかも、ほっていて「あっ、まちがえた」と言ったら、大学生の人が「だいじょうぶ。」と言ってくれたのでとても安心できました。とても楽しかったです。

(朝日小4女子保護者)

ちょうこく刀を使うときいて少々心配しましたが、本人がとても喜んでいるのをみていい体験ができたと思います。けれど帰りがおそいのは少々心配しました。

低学年の参加もありましたが、保護者同伴でないと参加できなかったのは残念でした。土・日働く人もいるので、その辺を少し考慮してもらえたらよかったです。

(朝日小4女子)

私は、2回目だったけど、ちょうこくとうなどの1本1本の使い方とかもこの前より知れたし、大学生さんといっぱいしゃべってふれあえました。

後、完成したときに、みんながうれしそうにしていたのでよかったです。

(朝日小4女子保護者)

第1回～2回とこのプロジェクトに子どもが参加させていただきまして有難うございました。一つの作品を丸一日かけて、みんなで完成させる体験の中で、貴重な学びを子どもは経験する事が出来ました。

この体験を通して得た事は、いろんな形でプラスとなり、今後の成長につながると思います。

素晴らしい体験学習を有難うございました。

(朝日小1女子)

わたしは、あんどんづくりをしました。大がくせいのおねえちゃんもきました。いっしょにつくったのはえりかねえちゃんとみやかねえちゃんをつくりました。

はんこもみなもとにじをつくりました。ペットボトルにそれをかざってきれいにできました。

(朝日小1男子)

ぼくは、けしゴムはんこをつくりました。さいしょは大学せいのおねえさんにおしえてもらっていたけど2かい目は、一人でできたのでうれしかったです。

あとちょうちんはせっこうの中にくぎをいれてつくりました。どっちもじょうずにつくれました。

(朝日小1女子)

ちょうちんは、むずかしかったけど大学生のおねえちゃんたちがいっしょにつくってくれてたのしかったです。あとおねえちゃんたちがてつだってくれ二人がてつだってくれてけしごむのスタンプもつくれました。二人の名まえはかなちゃんとえりかちゃんです！◎

(朝日小1年男子)

だいちょうちんを作ったよ

今日ちょうちんづくりをしました。名ごやの大学生といっしょにやりました。

さいしょにペットボトルの上を切りました。ちょっとむずかしかったです。

そのつぎにけしゴムはんこを作りました。これもちょうとむずかしかったです。

つぎにペットボトルのまわりにはる紙をけしゴムはんこをおして作りました。これはか

んたんでした。

さいごに、ろうそくを立てて火をつけてくらいところでペットボトルを見たらとってもきれいでした。

またこういうきかいがあったらやりたいです。

(朝日中1年男子)

大学生のみなさんと話をして自分も楽しんでできたし、楽しみながら地域に貢献できたのでよかったです。

またこういう機会があれば参加したいです。

(朝日中1年男子)

二回目参加させていただきましたが、やっぱり大変でした。しかし、地域のために参加したと思うと、うれしいと思ったし、とてもたのしく、思いでになったと思った。

版画で彫るのが大変だった。

(朝日中1年男子)

ぼくは百景プロジェクトに参加してみて、ぼくの版画はとても細かくて大変で、途中でやめちゃいたいくらいでした。でも、大学生の先生が最後までアドバイスやほり方を教えてくれたので、がんばれました。最後まであきらめずにやって、きれいにできたのでよかったです。これからも、伝統として続いていってほしいです。

(朝日中1年男子保護者)

何度も誘ってようやく出てくれました。

積極的な参加ではなかったですが、本人も参加して良かったと言っているのも、それが全てだと思います。

大学生が、根気よく最後までそばにいて教えて下さったことが、本人にとって一番嬉しかったことだと思いました。有難うございました。

伝統は、途絶えることなく受け継がれていかなければいけないと思います。その為には、私達大人が頑張らなければならないと思いました。

(朝日中1年男子)

こういう風に廃校になった校舎の校歌を聞いて版画にするというのは大変だったけど、なくなってもひきついでいけることはいいことだと思ったので、これからも続けていってほしいと思いました。

(朝日中1年男子)

百景プロジェクトでは現役の大学生や教授と一緒に版画をやり、貴重な体験をさせても

らえたのでよかったです。作品づくりは、どのようにほるか迷ったりしたけど、隣にいた大学生に教えてもらいながらやっていい作品にすることができたのでよかったです。版画のすり方は学校と違うやり方だったので、いい体験をさせてもらったのでよかったです。

ぼくは、高根中学校に行ってはなかったけど、昔、卒業した人からすればなつかしいと思うので、いいものを作れたなあと思いました。

(朝日中2年男子)

前回も参加して楽しかったし、今回も違う学校の校歌だったけど楽しくできたのでよかったです。

学生さんたちもいろいろと教えてくれたのでやりやすかったし、また参加したいと思いました。

(朝日中2年男子)

初めて百景プロジェクトに出て、紙に閉校になった校舎をかいて板にうつして彫る作業で彫り終わったあとにすりをやって、自分では上手にできたし、みんなも上手に作れていてよかったです。

時間はかかったけど素晴らしいあんどんを作ることができたのでよかったです。

学生の人にアドバイスをたくさんもらってなるべく自分でやることができたのでよかったです。

初めてにしては、上手くできたしとてもいい作品ができたし、とても達成感が出たと思いました。

(朝日中2年男子)

はじめは「なんかつまらなさそーだな」とこのプロジェクトにマイナスイメージをもっていました。ですが校歌を聞いて作品をほっていくうちに、自分の書いた景色が作品の一部になってこれからも残っていくなんてすばらしいことだなと思いました。

このようにして、歴史や伝統を形にして残していけるのはいいことだなと思いました。

(朝日小学校1年女子)

わたしは、さいしょは、大きなおにいちゃんや大学のおねえちゃんたちがちよつとこわそうだったけどやさしかったからできた。

ちょうちんやスタンプづくりたのしかったです☺ おねがいね！！☺

(朝日小1年女子保護者)

今回は大変貴重な体験をさせていただきありがとうございました。又、教えて下さった名古屋芸術大学の教授をはじめ学生のみなさまにも子どもや、親に大変丁寧に教えて下さったことに感謝しております。

今回の体験で、子ども達に私達親が昔の事をどれだけ伝えていなかったかが又、伝えきれていなかったことを実感し、又、もっともっと伝えていき、自分の郷土を好きになって、これからの朝日をはじめとして、秋神、高根、日和田を支えてくれるような大人になって欲しいと思いました。又、このプロジェクトに参加した高学年の子や中学生の子達と接して優しい子どもばかりで嬉しく思いました。

今後、教育の現場だけでなく生活の中で少しずつ自分の子どもたちにも育って欲しいと思いました。

これからも機会がありましたら参加したいとおもいます。

学校、教育委員会、支所のみなさま今回は本当にありがとうございました。

(朝日小1年男子)

たのしかったしまたやりたいしじょうずにできたのでうれしかったです。

(朝日小1年男子保護者)

今回1年生が作るとうろうは消しゴムはんこを彫る作業があり、初めて彫刻刀を使うことに心配もしましたが、楽しんで作業をしていたので良い体験ができました。大学生のお姉さん方に親切に教えていただきながら作品を仕上げることでできてとても良かったです。

(朝日小5年男子)

ぼくは、ほいくえんからやっていたけど一番じょうずに書けてほれたので良かったです。

(朝日小5年男子保護者)

中学の生徒さんはどれもすてきな仕上がりでびっくりしました。中学校、小学校などで、こんな風に作品を作っている子たちも、たぶん大人になれば木版画はもちろん、図工などのように何かを作ることは、ほとんどの人がしなくなると思う。子どもの頃の作品が、ちゃんとした形で残されるのはすばらしいことと思った。

これらの作ったとうろうは何年か何十年か保存され、他の人にもみてもらえるかもしれないがやっぱり、この版画に彫り、作ったり参加した人々が一番うれしくなつかしく見れると思う。ので、このプロジェクトに参加してよかった。

そして、いつかこれを作った子どもたちが大人になってからみて、小学、中学のころの気もちや時間を思い出してくれればとてもいいなと思う。